



環境経営レポート

2023年度
運用期間 2023年 7月～2024年 6月



SI シナジーテクノロジー株式会社

発行日 2024年 6 月 28日

目 次

1. 組織の概要及び認証に係る対象範囲	1
2. 環境経営方針	2
3. 環境活動実施体制	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営計画に基づく取組	6
7. 環境経営目標の実績結果及び評価	8
8. 環境経営計画の取組結果と評価及び次年度の取組	11
9. 環境関連法規の遵守状況及び評価	12
10. 代表者による全体の評価と見直し	13

1. 組織の概要及び認証に係る対象範囲

(1) 名称及び代表者名

SIシナジーテクノロジー株式会社

代表取締役社長 志村秀幸

(2) 所在地

〒192-0031 東京都八王子市小宮町211-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役 池田憲秋

担当者 梶原

TEL 042-648-1420

FAX 042-648-1421

(4) 事業内容

放送機器・通信機器制御装置の設計・開発及び製造・販売

(5) 事業規模

設立 2013年7月19日

資本金 1,000万円

総売上 24,900万円(2022年度)

主要製品生産高 18,000万円

	単位	2023年度
従業員	人	14
延床面積	m ²	337
敷地面積	m ²	310

(6) 事業年度

7月～6月

(7) 対象組織・活動

登録組織名: SIシナジーテクノロジー株式会社

活動: 放送機器用・通信機器用制御装置の設計・開発及び製造・販売

(8) 対象期間

2023年7月～2024年6月

2. 環境経営方針

《環境基本理念》

S I シナジーテクノロジー株式会社は、「人と社会に貢献します」を経営理念として行う事業活動（放送機器用・通信機器用制御装置の設計・開発及び製造・販売）において、地球環境の保全が重要課題であることを認識し、企業活動のあらゆる面で地球環境の継続的な改善及び環境負荷の低減に取り組みます。

《環境保全への行動指針》

- （１） 当社の事業活動、製品またはサービスによる環境への影響を評価し、環境汚染の防止に努めると共に継続的改善及び向上を図ります。
- （２） 当社の事業活動、製品またはサービスに係わる環境関連法令、その他要求を遵守します。
- （３） 事業活動の中で、特に次の事項を重点的な環境管理テーマとして取り組みます。
 - ① 電力、自動車燃料等の省エネによる二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物排出量の削減（一般廃棄物・プリント及びコピー使用枚数の削減）
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 環境に配慮した製品の製造
 - ⑤ 環境保全活動への取組
- （４） 環境活動の推進にあたり、環境経営目標・環境経営計画を策定し実施すると共に定期的な見直しを実施します。
- （５） 本経営方針は全ての従業員に周知し、全員がこれを理解し、実践できるように教育・啓蒙活動を推進します。
必要に応じて社外に対しても公表します。

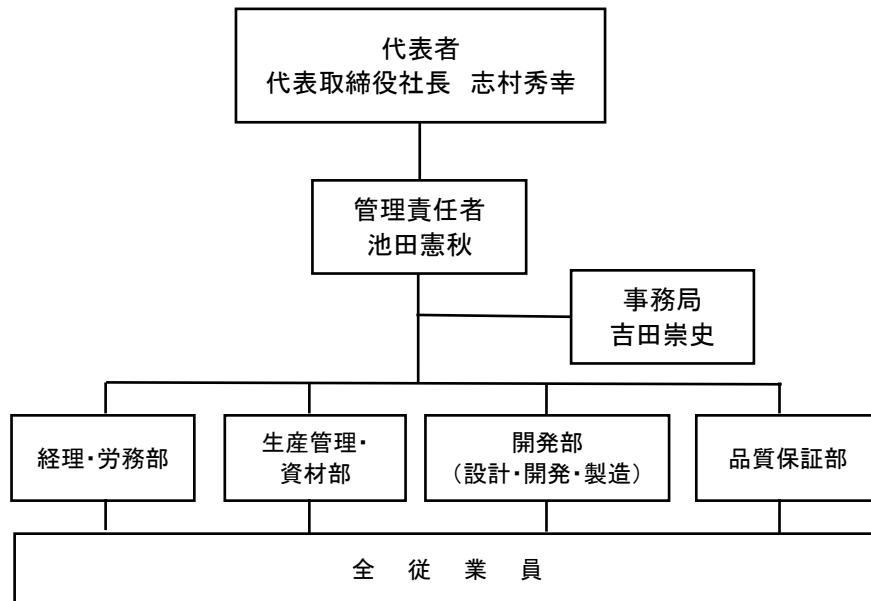
制定日 2022年 12月 1日

S I シナジーテクノロジー株式会社

代表取締役社長 志村秀幸

3. 環境活動実施体制

(1) 組織図



(2) 環境活動 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者の任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営システムの実施に必要な資源（人、設備、費用など）の準備 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・実施体制の構築 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境経営目標・環境経営活動計画及び環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめを承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者に報告
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめと遵守状況評価の実施 ・環境経営レポートの作成
部長	・自部門の環境目標を達成するための環境経営活動計画の運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚

4. 環境経営目標

大項目	項目名	単位	2022年度 基準年	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
二酸化炭素削減	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	10,913	10,795	10,678	10,560
				削減率 1.1%	削減率 2.2%	削減率 3.2%
	電力使用量の削減	kWh	22,760	22,532	22,305	22,077
				削減率 1.0%	削減率 2.0%	削減率 3.0%
	ガソリン使用量の削減	L	358.0	350.8	347.3	343.7
				削減率 2.0%	削減率 3.0%	削減率 4.0%
廃棄物削減	一般廃棄物の削減	kg	718.6	704.2	697.0	689.9
				削減率 2.0%	削減率 3.0%	削減率 4.0%
	コピー使用枚数の削減	枚	26,907	26,369	26,100	25,831
				削減率 2.0%	削減率 3.0%	削減率 4.0%
排水量削減	水使用量の削減	m³	90	89	88	87
				削減率 1.0%	削減率 2.0%	削減率 3.0%
環境に配慮した製品の製造	不適合発生の削減	件	0	0	0	0
環境活動への取組	環境教育	件	12	12	12	12
	5Sパトロール	件	*	6	6	6

電力の CO2 排出係数 = 0.443 kg-CO2/kWh

ガソリンの CO2 排出係数 = 2.32 kg-CO2/ℓ

産業廃棄物 : 製造はすべて協力会社で行っており、産業廃棄物はほとんど発生しないが、配線修正作業がある場合に「配線ごみ」が発生する。

「配線ごみ」に関しては、八王子市役所へ確認し、不燃ごみとして廃棄する事で指導を受けている。

化学物質 : 当社の製造工程においては、化学物質の取り扱いは行っていない。

5. 環境経営計画

方針	目標項目	単位	取組内容	担当
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	各目標項目の内容を実施	全社
	電力使用量の削減	kWh	退社時の点検	全社
			昼休みの消灯	
			個々のPCにおけるスリープモードの設定	
			エアコンの温度設定 夏28℃ 冬20℃	
			エアコンフィルターの定期的な清掃	
			恒温槽の計画的利用	
			ノー残業デーの実施	
	自動車燃料の削減 (ガソリン)	Km/ℓ	運転日報をつける	全社
			燃費の確認	
			効率的なルートで輸送	
			定期的なタイヤの空気圧の確認	
			アイドリングストップの徹底	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	kg	分別回収ボックスの配置と分別の徹底	全社
			資源物と廃棄物の仕分け	
			梱包材の削減と再利用	
			シュレッダーゴミのリサイクル	
	コピー使用枚数の削減	枚	両面コピー・裏面再利用の推進	全社
			再生紙の購入	
			ペーパーレスの推進	
排水量削減	水使用量の削減	m ³	水道はこまめに止める	全社
			節水に努める	
			水道配管からの漏れを定期的に確認	
			節水シール等の表示	
環境に配慮した製品の製造	不適合発生の削減	*	生産工程の確認	全社
			顧客満足度の確認	
			協力会社との連携	
環境活動への取組	環境教育	*	環境経営活動の進捗状況確認・評価・説明	全社
	5Sパトロール	*	2カ月毎のパトロール実施	全社

化学物質：当社の製造工程においては、化学物質の取り扱いは行っていない。

6. 環境経営計画に基づく取組

(1) 二酸化炭素の削減



節水シールによる
注意喚起



節電シールによる注意喚起

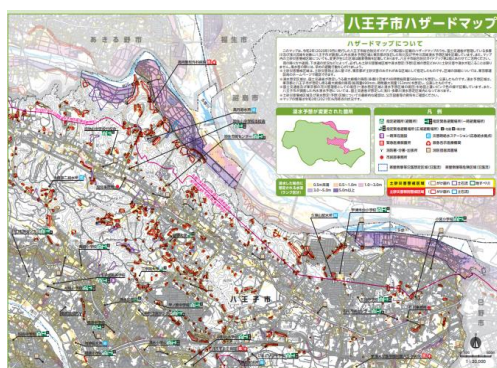


(2) 環境経営教育



毎週 月曜日のミーティング時に環境経営目標の
進捗状況の報告と教育を実施

(3) 非常事態の想定



当社は河川の氾濫等により1～3メートルの
浸水が想定されるため 建屋の1階部分が
浸水する可能性がある
ハザードマップ等により意識の向上を図る



「防災ポケットマニュアル」の配布

（４）避難訓練

火災・地震避難訓練（2023年9月25日）

火災を想定し、１階・２階および３階から適宜建屋外に避難を行い、点呼をとり
人数を把握したのち、解散とした。



7. 環境経営目標の実績結果及び評価

大項目	項目名	単位	2022年度 基準年	2023年度 目標	2023年度 実績	評価	評価内容
二酸化炭素削減	二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO ₂	10,913	10,795	12,004	×	電力・ガソリン共に使用量が増えたことにより未達となる
				削減率 1.1%	削減率 -11.2%		
	電力使用量 の削減	kWh	22,760	22,532	24,914	×	仕事量の増加に伴い残業が増えたことにより未達となる
				削減率 1.0%	削減率 -10.6%		
	ガソリン使用量 の削減	ℓ	357.8	350.6	416.7	×	製品の出荷数が増えたことにより車両の使用頻度が多くなった
				削減率 2.0%	削減率 -18.8%		
廃棄物削減	一般廃棄物の 削減	kg	718.6	704.2	720.7	×	ゴミの分別や段ボール等の再利用は進めているが、昨年の年末に廃棄物が多かったやめ通年で未達となる
				削減率 2.0%	削減率 -2.3%		
	コピー使用枚数 の削減	枚	26,907	26,369	27,053	×	仕事量の増加により客先への提出書類が増えたことにより未達となる
				削減率 2.0%	削減率 -2.6%		
排水量削減	水使用量の削減	m ³	90	89	86	○	節水の注意喚起等により意識の向上が図れたことにより目標の達成
				削減率 1.0%	削減率 3.5%		
環境に配慮した 製品の製造	不適合発生 の削減	件	0	0	3	×	設計時のチェック不足により不適合の発生
環境活動への 取組	環境教育	件	12	12	12	○	計画通りに実施
	5Sパトロール	件	*	6	6	○	社屋内のスペースを考慮して2カ月毎に行う事で目標を減らせた

電力の CO₂ 排出係数 = 0.443 kg-CO₂/kWh

評価 ○ : 目標達成

ガソリンの CO₂ 排出係数 = 2.32 kg-CO₂/ℓ

×

産業廃棄物 : 製造はすべて協力会社で行っており、産業廃棄物はほとんど発生しないが、配線修正作業がある場合に「配線ごみ」が発生する。

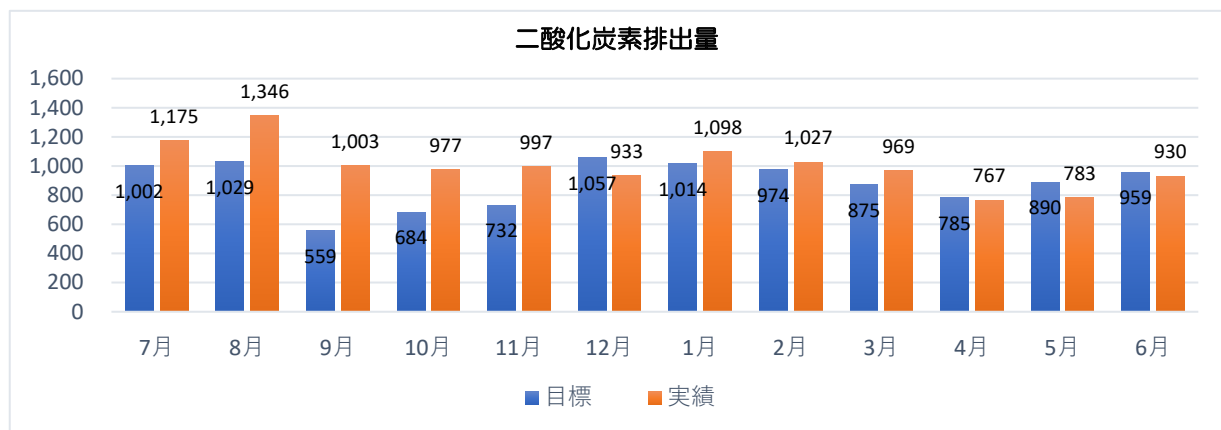
「配線ごみ」に関しては、八王子市役所へ確認し、不燃ごみとして廃棄することで指導を受けている。

化学物質 : 当社の製造工程においては、化学物質の取り扱いは行っていない。

《環境負荷推移グラフ》

(1) 2023年度 二酸化炭素排出量 (kg-CO2)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
目標	1,002	1,029	559	684	732	1,057	1,014	974	875	785	890	959	10,559
実績	1,175	1,346	1,003	977	997	933	1,098	1,027	969	767	783	930	12,005

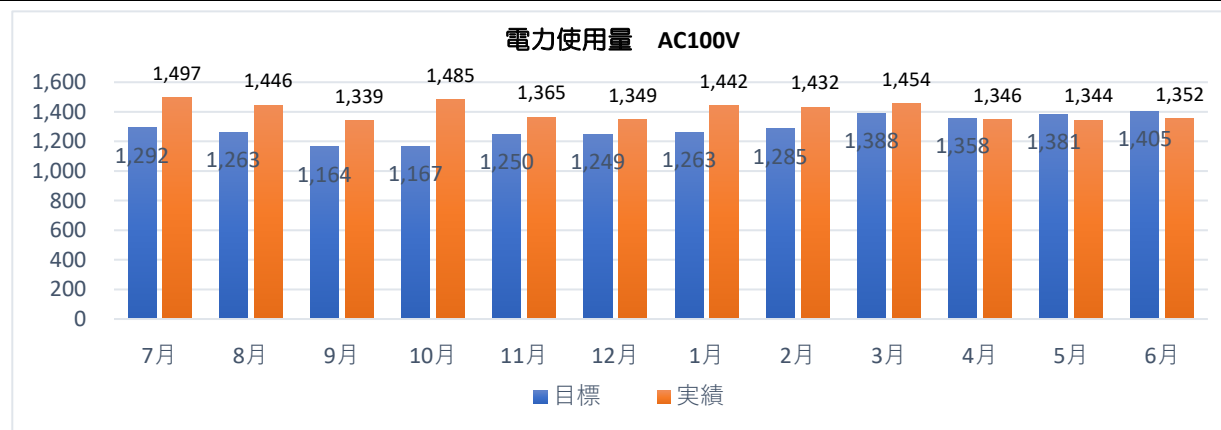


電力の CO2 排出係数 = 0.443 kg-CO2/kWh

ガソリンの CO2 排出係数 = 0.320 kg-CO2/ℓ

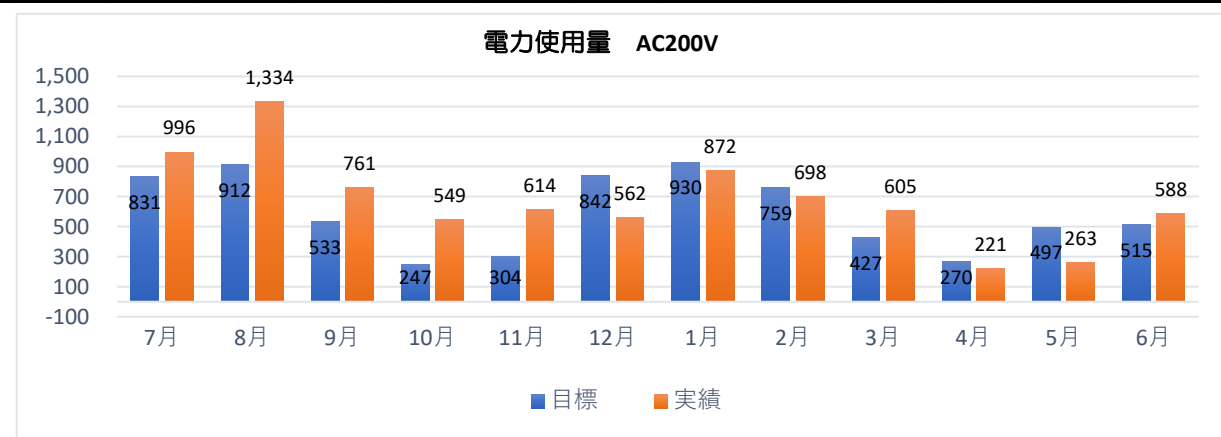
(2) 2023年度 電力使用量 AC100V (kwh)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
目標	1,292	1,263	1,164	1,167	1,250	1,249	1,263	1,285	1,388	1,358	1,381	1,405	15,465
実績	1,497	1,446	1,339	1,485	1,365	1,349	1,442	1,432	1,454	1,346	1,344	1,352	16,851



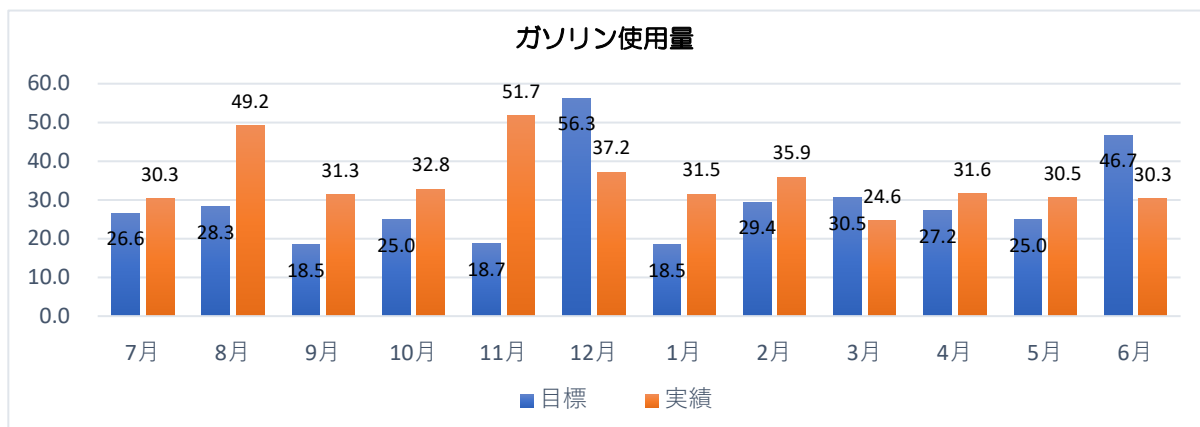
(3) 2023年度 電力使用量 AC200V (kwh)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
目標	831	912	533	247	304	842	930	759	427	270	497	515	7,067
実績	996	1,334	761	549	614	562	872	698	605	221	263	588	8,063



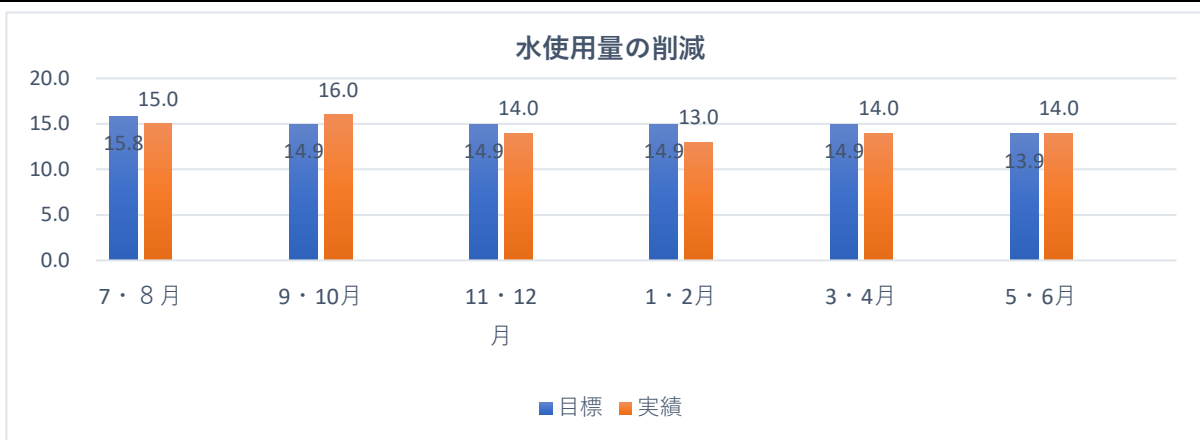
(4) 2023年度 ガソリン使用量 (ℓ)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
目標	26.6	28.3	18.5	25.0	18.7	56.3	18.5	29.4	30.5	27.2	25.0	46.7	350.7
実績	30.3	49.2	31.3	32.8	51.7	37.2	31.5	35.9	24.6	31.6	30.5	30.3	416.9



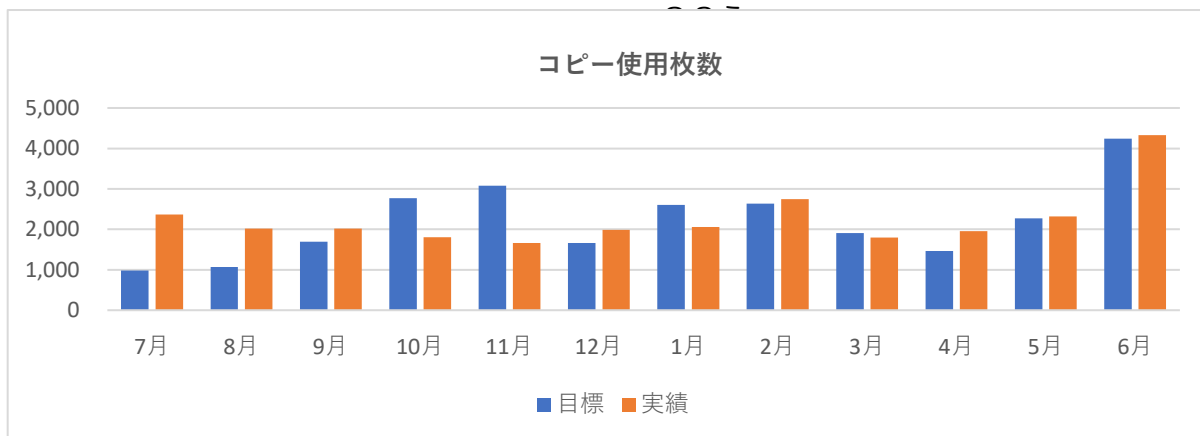
(5) 2023年度 水使用量の削減 (m³)

	7・8月	9・10月	11・12月	1・2月	3・4月	5・6月	合計
目標	15.8	14.9	14.9	14.9	14.9	13.9	89.3
実績	15.0	16.0	14.0	13.0	14.0	14.0	86.0



(6) 2023年度 コピー使用枚数の削減 (枚)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
目標	979	1,068	1,694	2,769	3,078	1,658	2,603	2,636	1,908	1,461	2,273	4,240	26,369
実績	2363	2019	2018	1807	1660	1985	2060	2745	1798	1952	2319	4327	27053



8. 環境経営計画の取組結果と評価及び次年度の取組

目標項目	達成率	取組内容	評価	評価内容	次年度の取組
二酸化炭素の削減	97%	各目標項目の内容を実施	×	電力・ガソリン共に目標未達	継続して活動を進める
電力使用量の削減	99%	退社時の点検 昼休みの消灯 個々のPCにおけるスリープモードの設定 エアコンの温度設定 夏28℃ 冬20℃ エアコンフィルターの定期的な清掃 恒温槽の計画的利用 ノー残業デーの実施	×	電力に省エネ対策については対応できているが 仕事量の増加に伴い電灯等の使用量が増えている	継続して活動を進める 売上に伴い基準値の見直しが必要
自動車燃料の削減 (ガソリン)	88%	運転日報をつける 燃費の確認 効率的なルートで輸送 定期的なタイヤの空気圧の確認 アイドリングストップの徹底	×	運行点検やアイドリングストップ等の対応は実施できている 仕事量の増加に伴い車両の使用頻度が多くなった	継続して活動を進める 売上に伴い基準値の見直しが必要
一般廃棄物の削減	99%	分別回収ボックスの配置と分別の徹底 資源物と廃棄物の仕分け 梱包材の削減と再利用 シュレッダーゴミのリサイクル	×	ゴミの分別廃棄や資源ゴミの再利用は定着している	継続して活動を進める 売上に伴い基準値の見直しが必要
コピー使用枚数の削減	99%	両面コピー・裏面再利用の推進 再生紙の購入 ペーパーレスの推進	×	両面コピーや裏面再利用等の対応が不十分であった	継続して活動を進める
水使用量の削減	105%	水道はこまめに止める 節水に努める 水道配管からの漏れを定期的に確認 節水シール等の表示	○	節水等の行動は前向きに行えている	継続して活動を進める
不適合発生の削減	100%	生産工程の確認 顧客満足度の確認 協力会社との連携	×	設計におけるチェック体制の不備	チェック体制を見直し 出荷前検査の精度を上げる
環境教育	100%	環境経営活動の進捗状況確認・評価・説明	○	計画通り月1回の教育を実施	継続して活動を進める
5Sパトロール	100%	2カ月毎のパトロール実施	○	毎月の実施から2カ月毎のパトロールに変更	継続して活動を進める

達成率：目標／実績

評価 ○：目標達成

×：目標未達

9. 環境関連法規の遵守状況及び評価

対象期間における事業活動に関する環境関連法規への違反・訴訟は無く、遵守されていた。
関係当局からの違反・訴訟等の指摘は無かった。

区 分	法規制等名称	要求事項及び手続き・対応方法	評価
廃棄物等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	事務所からの廃棄物(可燃ごみ・不燃ごみ・ 紙類・ビン・缶等の事業用一般ゴミ)の 資源物と廃棄物の分別搬出	適合
	八王子市 廃棄物の処理及び再利用の促進に 関する条例		適合
火災	消防法	消火設備 消火器の設置 (外部資格業者に点検委託)	適合
水質汚濁	八王子市下水道条例	下水道の利用時 油・化学品の流出防止	適合
フロン の使用	フロン排出抑制法	業務用エアコン 四半期に一度室内機、室外機の簡易点検	適合
リサイクル	資源有効利用促進法 (パソコンリサイクル法)	使用済みパソコン・モニターの廃棄 メーカーへの引取依頼	適合
		小型二次電池の廃棄 リサイクル協力店への依頼	適合
	使用済小型電子機器等の再資源化の 推進等に関する法律 (小型家電リサイクル法)	小型電子機器(電話・ファックス・携帯電話機 等)のリサイクル化	適合
車両	道路交通法	法定速度・積載制限等の遵守 点検整備・運行記録	適合

10. 代表者による全体の評価と見直し

2022年12月から始まったエコアクション21の取組であるが、当社の事業年度の2023年7月から2024年6月までの1年間で初めて対応することが出来た。

従業員には、省エネ等環境保全に関する活動が定着しており、本業における企業活動にも良い影響を与えていると感じている。

しかし、年度毎に売上も伸びており、同時に環境の負荷も増えていることから仕事量に合った負荷目標の見直しが必要であると思われる。

今後も更なる環境活動を定着させ、継続的に目標の達成を目指し、全社員で活動に取り組みたい。

2024年 6月 28日

S I シナジーテクノロジー株式会社

代表取締役社長 志村秀幸